



『うみがめのたまご』～3.11 ネットワーク～について

『うみがめのたまご』～3.11 ネットワーク～は、東日本大震災をきっかけに宮崎に避難してきたお母さんたちがつくり、広がってきました。

名前の由来は、産卵のために宮崎の海岸をめざすウミガメの母親に、漂白ののちこの地にたどり着いた自分たちの姿を重ねたこと。そして、けわしい大海原にむかって頼りなく泳ぎだす子ガメに、これからきびしい世の中を生きるであろうわが子の姿を見たからです。

わたしたちの活動の中心は交流会。

「わたしも東日本から宮崎に来ました。あなたはどんな思いでここまで来たのですか？」

主催者も同じ立場なので、気軽に声をかけあいました。交流会の回数は60回を超え、宮崎県内に避難や移住をしている約180の家族や個人と、ゆるやかにつながっています。

震災から2年が経とうとしている今、宮崎で新しいスタートをきり充実した毎日を生きる移住者も増えてきました。一方、先行きが見えず不安や苦悩の中にいる被災者からは、さまざまな相談や要望が寄せられています。夫と離ればなれのまま宮崎で子育てを一人続ける母親、これから宮崎に避難や移住、短期保養を望む東日本の人たち。

わたしたちはできるかぎりその心に寄りそい、被災者が孤立しないよう努めたいと思っています。

人生における価値観や優先順位は人それぞれです。

この大きな震災を経験し、現実を受けとめて笑顔で生きていくために一人ひとりが出す答えの全てを尊重し、応援していきます。

『うみがめのたまご』はこのように、人と人とがやさしい想いでつながるゆるやかなネットワークです。

わたしたちをあたたかく迎え入れてくださった宮崎の方々やゆたかな大自然に、心からの感謝と敬意を捧げるとともに、故郷である愛しい東日本とのかけ橋となる活動をこれからも続けていきたいと思えます。

『うみがめのたまご』～3.11 ネットワーク～

代表者：古田ひろみ

活動地域：宮崎県全域

発足年月日：2011年7月16日

Webサイト：<http://umitama.info/>

連絡先：E-Mail askme@umitama.info

電話 080-6679-4899（古田）

活動内容

被災者と被災者、被災者と地域住民が会い、つながる交流会の開催。

県内における被災者への子育てや暮らしに関する相談および情報提供。

宮崎へ避難・移住、短期保養を希望している被災者への相談および情報提供。

「原発事故子ども・被災者支援法」の周知や意見集約に関わる活動。

情報発信（メディア、公式サイトなど）。

個人や団体、行政との関係づくり。



15家族40人楽しいひととき
 「うみがめのたまご」がクリスマス交流会

大震災被災地から避難、移住

2012年12月26日 (水)



「うみたま」広がる輪

震災避難者家族らの会1周年の集い

震災避難者家族らの会が1周年を迎えるにあたり、12月17日(日)に、同会の活動の中心となる「うみたま」の輪が広がる中、被災者家族らとボランティアが一堂に集い、交流を深めた。

当日は、被災者家族らとボランティアが一堂に集い、交流を深めた。会場には、被災者家族らとボランティアが一堂に集い、交流を深めた。



読者 2012年10月26日(金)

震災移住者の思い 冊子に

うみがめのたまご「風化防ぎたい」

震災避難者家族らの会が、被災者家族らの思いを伝える冊子「うみがめのたまご」を制作し、10月26日(金)に、同会の活動の中心となる「うみたま」の輪が広がる中、被災者家族らとボランティアが一堂に集い、交流を深めた。

冊子には、被災者家族らの思いが綴られており、被災者家族らとボランティアが一堂に集い、交流を深めた。